

<緑のカーテン>この5日ほどすっかり涼しくなりました。まさに72侯の“天地始肅（てんちはじめてさむし）”です。いささか時機を逸した感もありますがちょっと珍しい“緑のカーテン”を紹介しましょう。普通は苦瓜(ゴーヤー)、ヘチマか朝顔が日除けとして植えられますね。SHCでは工夫されていて昨年は“宇宙いも”(No.25参照)、今年はこれに加えてホップと“オキナワスズメウリ”(右写真)が数メートルの高さのカーテンを作っています。このスズメウリは薄黄色の小さな花と緑に白い筋の入ったまん丸い実(径2~3cmほど)を沢山付けています。実はそのうち真っ赤に熟すことでしょう。



<みのりの秋へ>クヌギ、ナラやシイのドングリはまだハカマ(穀斗)の方が大きい位ですが今年は豊作の気配です。一方、6月に花を咲かせていた“ミズキ”や



<ミズキの果実>



<ガマズミの果実>

“ガマズミ”の実の色付いてきました。7月に花を咲かせたムラサキシキブも早や色付け始めています。追いかけるように花を咲かせ実を付け始めているのが“クサギ”です。

クサギは白い花と青い実(ビオトープの四季 No.14、22)のほか、濃いピンク色をしたふくさ状の未成熟な実と三度も楽しめます。フランスなどで街路樹として大切にされる所以でしょうか。



<クサギの花>



<クサギの若い果実>

<花かと思えば>キャンパスの周辺には

“マダケ”の竹林が沢山あり、年々地下茎を広げ新しい地にタケノコが顔を出します。そんな中「数十年に一度」と言われる花が一斉に咲き出したかと思っただけですが、実は小枝がやたらに殖える“テングス病”に罹っているようです。手入れ不足などで竹が弱ると罹患し易く全国に広がっているとのこと。杉や檜の林だけでなく竹林にも「手入れ部隊」が今や必要ですね。

<テングス病に罹ったマダケ>→



(テングス病) 天狗巢病、タケは麦角菌による。サクラ、マツ、ムギ、野菜も罹りますが病原菌は異なるようです。



<コクワガタ♀>



<ヤマユガ>

<どうして>昨夏はカブトムシやクワガタが沢山姿を現しましたが、この夏はとんと見かけません。やっと目にしたのが“コクワガタ(♀)”です。今年はずバメの巣作りも「なし」でした。来夏を待たなければなりません。来夏を待たなければなりません。来夏を待たなければなりません。来夏を待たなければなりません。来夏を待たなければなりません。

一方“ヤマユガ”やセミたちは大丈夫なようです。

(写真と文：松本正勝)